

医療・健康分野 新規参入セミナー
～医療×ITによるイノベーションと参入事例～

講演①「医療におけるICT技術の活用と課題」

東京慈恵会医科大学
先端医療情報技術研究講座 / 脳神経外科学講座
准教授 高尾 洋之氏

【略歴】

2001年東京慈恵会医科大学卒。08年同大学脳神経外科助教、14年厚生労働省医政局 医療機器政策室長補佐 等を経て、15年より先端医療情報技術研究講座を兼務、准教授。12年からはカリフォルニア大学ロサンゼルス校脳神経放射線科リサーチアシスタントを兼任、脳神経外科医の活動に加え、医療ICTの最先端研究開発に携わっている。



講演②「ベンチャー企業による医療機器プログラム開発から保険適応と国際展開」

株式会社アルム
代表取締役社長 坂野哲平氏

【略歴】

「2001年早稲田大学工学部卒業と同時にスキルアップジャパン(株)を設立し動画配信プラットフォーム事業に従事。動画配信事業の売却を機に医療ICT事業へ本格参入し15年に(株)アルムに商号変更。医療機器ソフトウェアの開発から販売までを手がけ、国外進出も行っている。同社の医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」は、日本初の保険適用ソフトウェアとなった。



講演③ 企業の事例紹介

「医療画像診断ソフトウェアを核とした事業展開」

株式会社プリズム・メディカル 取締役会長 小田原 好宏 氏

1997年設立。医療画像管理システム及び関連周辺ソフトを主力に、現在は、医用画像にスマートフォンの活用など新技術の開発を進めている。薬事法の改正に伴い、単体プログラムが規制対象となり2015年に医療機器製造販売業の認可を取得。

「北海道大学との産学協働による3Dスキャナ技術の医療応用」

株式会社ノア 取締役/北海道技術開発センター長 長枝 浩 氏

1993年設立。ファームウェア受託を主たる事業とし、2010年頃から3Dスキャナの開発を開始。その後、医療応用として北海道大学医学研究院、同大学院情報科学研究科との共同研究で「体表面3D対称性認識システム」を開発。現在、医療機器認証を目指している。